

じゅうもんじがくえんじょしだいがく
十文字学園女子大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	実施 時期	曜日	時限	定員	授業時間
日本文学史C	小林 実	後期	火	2	若干名	1 限 9:00～10:30 2 限 10:40～12:10 3 限 13:00～14:30 4 限 14:40～16:10 5 限 16:20～17:50
放送文化と日本語	滝島 雅子		火	2		
日本と世界の食文化	伊藤 美穂 他		火	4		
子どもの心理臨床	加藤 陽子		火	4		
日本語音声学	稲田 朋晃		木	1		
食医学	辻 典子		木	3		
日本語学研究A	星野 祐子		金	2		
表現活動(応用)	久保田 葉子 他		金	3		

※上記時間割は令和8年6月1日現在のものです。

今後、急な時間割変更が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は9月14日(月)から開始しますが、一部変則的な取り扱いがあります。

※授業は原則として対面で実施しますが、学内の感染状況が悪化した場合は、オンライン授業に切り替える可能性があります。

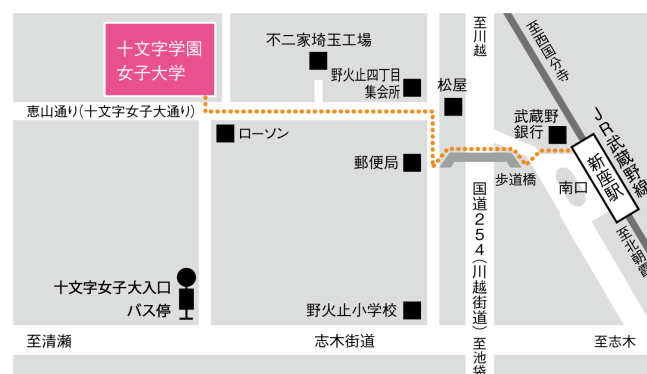
(2) 場所

十文字学園女子大学

〒352-8510 新座市菅沢2-1-28

[アクセス方法]

- JR 武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」下車、「清瀬駅北口」行きバスで「十文字女子大入口」下車、徒歩5分
- 西武池袋線「清瀬駅」下車、「志木駅南口」行きバスで「十文字女子大入口」下車、徒歩5分



※駐車場のご用意が出来ませんので、公共の交通機関でのご来校をお願いいたします。

2 受講料等

(1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

(教科書については第1回目の授業で担当教員から説明があります)

※受講料は、説明会時にクレジットカード・ICカードによる電子決済でのお支払いとなります。

※一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和8年8月17日(月) (消印有効)

(2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学 社会連携推進課

電話: 048-477-0958 (直通) ※平日9時～16時

(3) 申込方法

官製はがきに以下の事項をもれなく記入の上、郵送でお申込みください。

(1) 「大学の開放授業講座 受講申込」と明記

(2) 氏名・ふりがな

(3) 年齢 (令和8年4月1日現在)

(4) 性別 (男性も受講可)

(5) 電話番号

(6) 郵便番号・住所

(7) 受講希望科目・担当教員名 (何科目でも可)

※申込後に、都合により受講できなくなった場合はお早めにご連絡ください。

(4) 選抜方法

定員を超える場合または多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。(受講の可否、受講決定科目は8月下旬を目途に申込者全員にお知らせします)

(5) その他

本学が示す感染防止対策にご協力をお願いします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

日本文学史C (小林 実 教授)	明治から昭和にかけての小説を中心とする文学史を学びます。教科書の内容を基本とし、さらに専門的な事柄を講義します。教養として知っておきたい作家や作品を紹介しながら、それらの時代背景、メディアの仕組み、文壇形成の条件など、「文学史」を多角的に学ぶことを目的としています。【テキスト】『原色 新日本文学史(増補版)』文英堂
放送文化と日本語 (滝島 雅子 教授)	絶えず変化を続けるメディアを上手に活用するためには、メディアの意義と特性を理解した上で、受け手として正しく情報を読み解き、送り手として適切に情報を発信する力が求められます。放送メディアによって伝えられるさまざまな情報やことばを通して、自分で情報を正しく読み解き取捨選択できる力、適切に情報を発信できる力を身につけていきましょう。
日本と世界の食文化 (伊藤 美穂 講師 他)	日本といくつかの国や地域を比較しながら食文化について学びます。日本の食文化では、歴史的な変遷を概説します。世界の食文化では、主にアジアとヨーロッパ各国の食文化の特徴について概説し、地域、民族、宗教などによって異なる食の多様性を理解します。それぞれの地域の伝統を尊重する態度を養い、食文化の維持・継承のあり方を考えます。後半の授業では各自が調べた内容についてのプレゼンテーションがあります。
子どもの心理臨床 (加藤 陽子 教授)	本講義では、乳幼児期から青年期までの子どもが直面する心理的課題や問題行動について、臨床心理学の視点から学びます。子ども本人だけでなく家族との関わりも重視し、理論に基づいた支援の考え方を理解します。講義に加え、グループワークやディスカッションを通して実践的に学びます。
日本語音声学 (稲田 朋晃 准教授)	オンライン会議の増加や YouTube 等の人気に伴い、音声コミュニケーションの重要性はますます高まっています。本講義では、母音・子音、アクセント、リズム、音声と印象の関係など、音声を持つさまざまな側面を基礎から解説します。理論の理解にとどまらず、早口言葉、言い間違い、短縮語、ポピュラー音楽の歌詞など身近なものへの応用も考えながら音声への理解を深めます。
食医学 (辻 典子 教授)	私たちは「食べる」ことで生命と心身の健康を維持しており、近年注目を集める腸内環境も、長年親しんだ食文化に応じて地域ごとに形成される側面があります。個々人においては、ストレスなど生活から誘発された腸内細菌叢と生体恒常性の乱れが、肥満、糖尿病、認知症など多くの疾病とも関連する可能性が示されています。そのような社会背景のもと、科学的根拠に基づいた食生活のデザイン、それを可能とする様々な食材の開発やヘルスマonitoringの価値はますます高くなっており、本講座では日本食の利点も整理しつつ、ひとりひとりにとって理想的な、また地域と地球にも優しい食とは何かを考える構成とします。

日本語学研究A (星野 祐子 教授)	日本語を母語としない方に日本語を教えるための文法知識を身につけます。多くの問題を解き、日本語の様々な文法事項について、その法則を理解していきましょう。また、学校で学んだ「国文法」との違いも考えていきます。テキストは『考えて、解いて、学ぶ日本語教育の文法』（スリーエーネットワーク）を使います。
表現活動（応用） (久保田 葉子 准教授 他)	将来、小学校教員を目指す学生（1年次）向けに開講します。前期の「基礎」を未受講でも参加可能です。学生とともに、総合表現「かたくりの花（横須賀薫作詞、梶山正人作曲、一莖書房）」を練習し、発表（地元小学校等）します。朗読や歌唱、身体表現の楽しさを味わいます。教材はプリントして配布します。